

39

 はち  
 八か  
 さん  
 村落し  
 八か  
 さん  
 親水  
 さん  
 緑道


「八か村落し」は、江戸時代初期に開削され、葛西用水に源を發し古隅田川へ流れる農業用水で、途中の八か村を潤していたことから、この名で呼ばれていた。この親水緑道の整備は、周辺の宅地化や公共下水道の普及で機能を失っていた水路を復活させ、併せて歩道を整備したものである。

整備にあたっては、歩道沿いに幅九〇センチの水路を復活させ、往時の清流を甦らせた。沿道には四季折々の植物、水の流れ落ちる壁泉、自然石のスツールなどを配している。また、壁泉の間接照明灯や歩道照明灯を設置して、夜間の壁面を流れ落ちる水や灌木類をライトアップさせ、水の流れと調和した潤いのある景観を創出し、区民の憩いの場として親しまれている。

## DATA・BOARD 39



- ①東京都足立区中川5丁目13番～東和1丁目25番
- ②延長：2,805.6m、歩道幅員：5.3～6.6m、水路幅：0.9～2.14m
- ③水路、壁泉、スツール、湧水、植栽、ゲート、照明灯
- ④御影小舗石、伊勢ゴロ太石、白御影飛び石、桜御影石、磁器質レンガタイル